

『多職種連携によるまちの保健室』連携状況

(公益1事業)

1 連携団体

公益社団法人愛知県看護協会（主催）

公益社団法人愛知県医師会

一般社団法人愛知県薬剤師会

公益社団法人愛知県理学療法士会

公益社団法人愛知県歯科衛生師会

公益社団法人愛知県栄養士会

2 2025年度連携（協力）事業実績

(1) 拠点型「多職種によるまちの保健室」 （看護協会）

① 8月8日（金） 第1回テーマ：「認知症と生活習慣」part1 （健康相談） 2名

② 11月14日（金） 第3回テーマ：「中高年期の健康管理」part1（健康相談） 未定

(2) 2025 チャレンジドフェア（主催：理学療法士会ほか） （ポートメッセなごや）

8月30日（土）・31日（日） 各日4名 計8名

・医療的ケア児の栄養相談

(3) 看護協会支部イベント

ア 幸田町防災ひろば 10月4日（土） 1名

イ 小牧市民まつり 10月25日（土）・26日（日） 各日2名 計4名

ウ JA あぐりげんきの郷 11月23日（日） 2名

令和7年8月30日報告書

1. 参加イベント名：こどもの福祉機器展～チャレンジドフェア 2025～
2. 日時：令和7年（2025）年8月30日（土）10：00～16：00
3. 場所：ポートメッセなごや3展示館
4. 事業主体：愛知県のリハビリテーション三団体（理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会）が共同で運営している公益事業（HP 抜粋）
5. 愛知県栄養士会参加者： 海老子里美 川瀬文哉 市川日向子 奥村圭子（記録）
6. 内容：肢体不自由児等医療的ケア児の移動用福祉機器の展示や試用など。愛知県栄養士会は、「多職種によるまちの保健室」の団体として、栄養ケアのアドバイスを実施
7. 相談内容：件数 45 件（午前 25 件 午後 20 件）

概要：・摂食嚥下障害児に対する酵素入りゲル化剤の調理方法とゲル化剤の紹介

- ・胃ろう栄養におけるミキサー食の物性や適正量などのアドバイス
- ・気道切開など摂食嚥下機能障害を伴う子どもへの食具選択や栄養ケアのアドバイス
- ・食行動（吐き出し、味覚の偏りなど）の対処方法

8. 参加者からの所感：医ケア児を含む子供の食支援は専門性が高くご両親の悩みは医療や福祉など多岐にわたるため在宅だけでなく医療機関でも人材育成が必要、他団体はのぼりなどがあり栄養士会もあった方が良いと感じる、他団体と協同することで栄養士の役割が分かったなど、大きな学びになった。



こどもの福祉機器展～チャレンジドフェア 2025～
「多職種によるまちの保健室」参加報告書

記録 上原正子

1. 日時

令和7年(2025)年8月31日(日) 10:00(9:30 集合)～16:00

2. 場所

ポートメッセなごや第3展示館

3. 事業主体

愛知県のリハビリテーション三団体(理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会)が共同で運営している公益事業(HP 抜粋)

5. 参加者

海老子里美 川瀬文哉 市川日向子 上原

6. 事業内容

- ・肢体不自由児等医療的ケア児の移動用福祉機器等の展示や試用など。
- ・「多職種によるまちの保健室」として看護協会、歯科衛生士会、栄養士会が協同で日常の健康ケアについて相談窓口を開設
- ・理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会による体力測定など

7. 相談件数と主な相談内容

- ・件数 30 件程度
- ・胃ろう栄養における適正量などのアドバイス
- ・いわゆる「丸呑み」する子どもの適切な食形態の在り方
- ・症状に対応した適切な食の与え方(食形態及び量、食事の時刻等について医療機関で指導してもらっている内容で大丈夫かどうか知りたい)
- ・18 歳後の食指導ができる機関についての不安 etc

8. 所感

- ・他団体と協同して対応する機会となったものの看護協会より歯科衛生士会と一緒に対応することが多かった。歯科衛生士会は「食べることの専門家」としてPRしていることもあり、子どもの歯のレプリカを使っの説明や実際、子どもの口に手を入れて歯や下の状態を見ながら指導をしていた。歯科に定期的に通院している子どもが多いものの、時間をかけて説明が聞ける機会であることから、熱心に聞く保護者が多かったように思う。
ただ、担当した歯科衛生士の方々が栄養士会と連携して行う事業として理解していないことが残念であった。
- ・本会の相談も満足される方が多かった。初めのうちは固い表情の方も笑顔が出るようになり日常的な食べ物の提供に間違いがないことに安心される様子もみられた。
- ・本会が任されたスペースにおいては今回の4人体制が適切であると考えている。また今回のような「多職種によるまちの保健室」事業においては栄養士会ののぼりはなくてもその存在は大きいと考える。

JDA-DAT啓発活動報告書

- 1 参加イベント名：令和7年度「幸田町消防ひろば」での「多職種によるまちの保健室」
- 2 日時：令和7(2025)年10月5日(日) 10:00～15:00
- 3 場所：幸田町消防本部消防署
- 4 主催：幸田町消防本部
- 5 参加者：消防署職員 80名余、医療職種（看護師、理学療法士、管理栄養士）約20名
- 6 あいちD-DAT参加者：リーダー1名
- 7 啓発内容：3色バランス釣りゲーム（体験ブース）を通じた食品選択方法の啓発



まちの保健室の全景 後方が消防車



3色バランス釣りゲームのブース



3色の説明と“釣果”の確認



食品のプール 後方が地震体験車



医療スタッフと消防職員



父母と一緒に3色を探す様子